

小児看護学

[講義] 第2学年～第3学年 後期 選択 2単位

《担当者名》 木浪智佳子 (看護福祉学部 kinami@hoku-iryo-u.ac.jp) 川崎ゆかり (看護福祉学部)
谷本真唯 (看護福祉学部)

【概要】

成長・発達過程にある子どもの特徴、家族および環境が子どもに与える影響を理解するとともに、子どもと家族を対象とした看護実践の基盤となる知識と技術を学ぶ。

【学修目標】

1. 子どもと家族を対象とした小児看護の役割を考えることができる。
2. 健康障害を持ち、医療をうける子どもと家族への看護実践に必要な知識を習得することができる。
3. 基本的な小児看護技術の目的と原則を理解できる。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

【実務経験】

木浪智佳子(看護師)、川崎ゆかり(看護師)、谷本真唯(看護師)

【実務経験を活かした教育内容】

小児看護および母子保健の実務経験を通じて得た知識・技術・態度を活用し、実践的な教育を行う。